



東証一部 6143

2019年12月期 第2四半期
決算説明会資料

2019年8月16日

株式会社ソディック

I. 2019年12月期 2Q決算概要	3
II. 2019年12月期 業績予想	15
(参考資料)	23

I. 2019年12月期 2Q決算概要

業績ハイライト



- ✓ 米中貿易摩擦による投資判断の先送りにより、放電加工機の販売が大幅に減少した結果、売上高は前年同期比21.0%減少。
- ✓ 販売台数減少に伴う工場の稼働率低下、固定費の増加等により、利益は前年同期を大幅に下回る結果。 (百万円)

	2018年12月期 2Q		2019年12月期 2Q		増減		2019年12月期 通期予想 (8/2修正)
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	41,416	-	32,717	-	△8,699	△21.0%	66,200
売上総利益	15,290	36.9%	11,331	34.6%	△3,959	△25.9%	-
営業利益	5,277	12.7%	2,127	6.5%	△3,150	△59.7%	3,800
経常利益	5,185	12.5%	2,073	6.3%	△3,111	△60.0%	3,600
当期純利益	3,677	8.9%	892	2.7%	△2,785	△75.7%	2,000
	売上高比率		売上高比率				
設備投資額	4,679	11.3%	2,760	8.4%			4,500
減価償却費	1,508	3.6%	1,667	5.1%			3,400
研究開発費	2,078	5.0%	1,911	5.8%			4,200
期中平均 為替レート	ドル	108.67 円		110.06 円		1.39円 円安	107.5 円
	ユーロ	131.55 円		124.32 円		7.23円 円高	122.2 円
	人民元	17.09 円		16.19 円		0.90円 円高	15.9 円
	バーツ	3.43 円		3.49 円		0.06円 円安	3.5 円

※参考情報 2019年6月末 為替レート ドル：107.79円 ユーロ：122.49円 人民元：15.69円 バーツ：3.50円
2018年6月末 為替レート ドル：110.54円 ユーロ：127.91円 人民元：16.66円 バーツ：3.33円

業績ハイライト（四半期別）



- ✓ 第1四半期は日本の自動車関連大口案件や中国での放電加工機の販売が増加したが、第2四半期は米中貿易摩擦による投資判断先送りやスマホ・電子部品関連の落ち込み、自動車関連の弱さもあり売上高減少。
- ✓ 利益面では、売上減少による工場稼働率の低下等により、第2四半期の営業利益が大幅に減少。為替レートが円高に推移したことで為替差損が生じ、経常利益がマイナス。

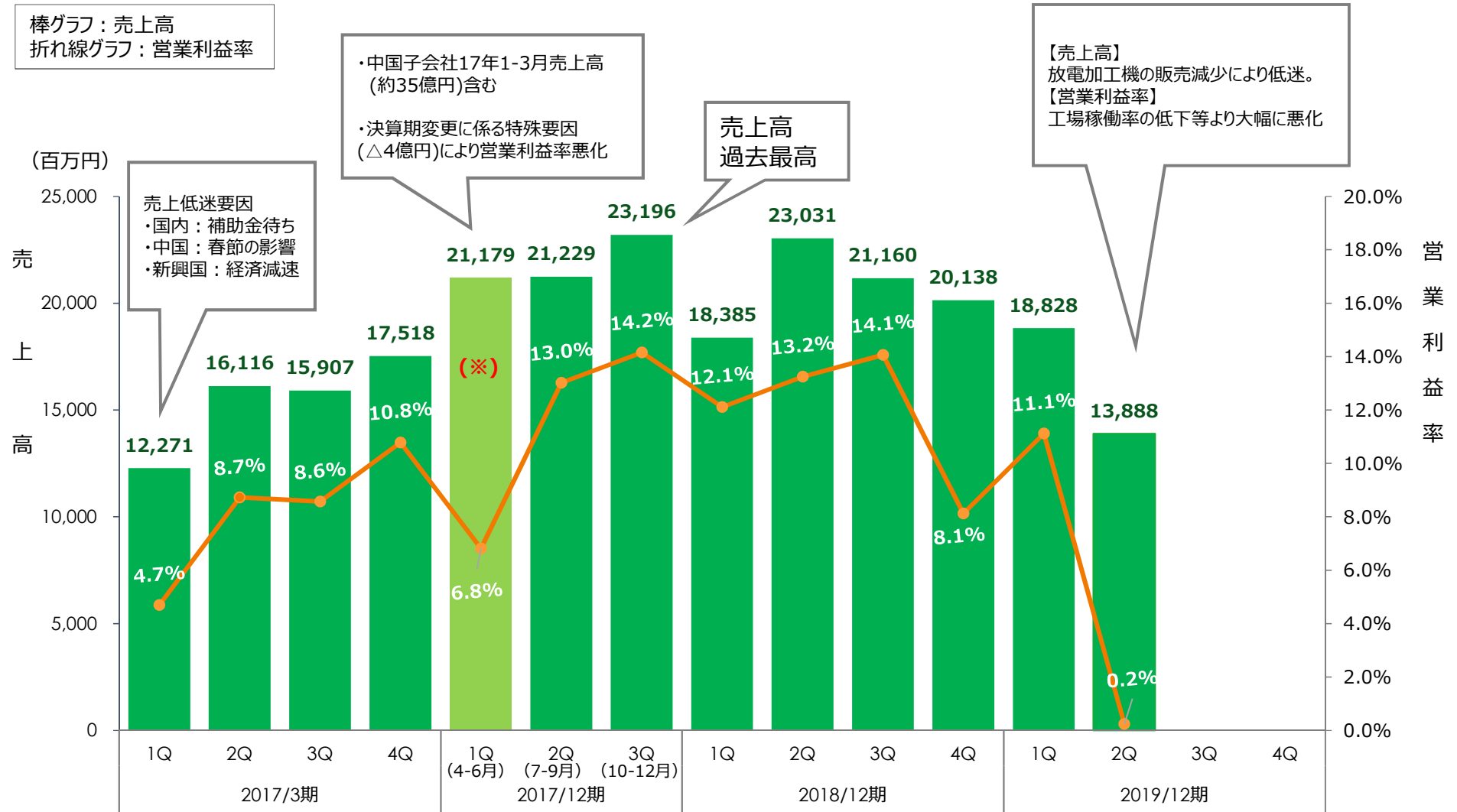
業績悪化に伴う繰延税金資産の取り崩し等により、法人税等調整額を約5億円計上し、当期利益マイナス。(百万円)

	2019年12月期				増減	
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	金額	率
売上高	18,828	-	13,888	-	△4,940	△26.2%
売上総利益	6,645	35.3%	4,685	33.7%	△1,960	△29.5%
営業利益	2,093	11.1%	33	0.2%	△2,060	△98.4%
経常利益	2,168	11.5%	△94	△0.7%	△2,263	-
当期純利益	1,460	7.8%	△568	△4.1%	△2,028	-

期中平均 為替レート	ドル	110.22 円		110.06 円	
	ユーロ	125.16 円		124.32 円	
	人民元	16.32 円		16.19 円	
	バーツ	3.49 円		3.49 円	

売上高・営業利益率推移（四半期毎）

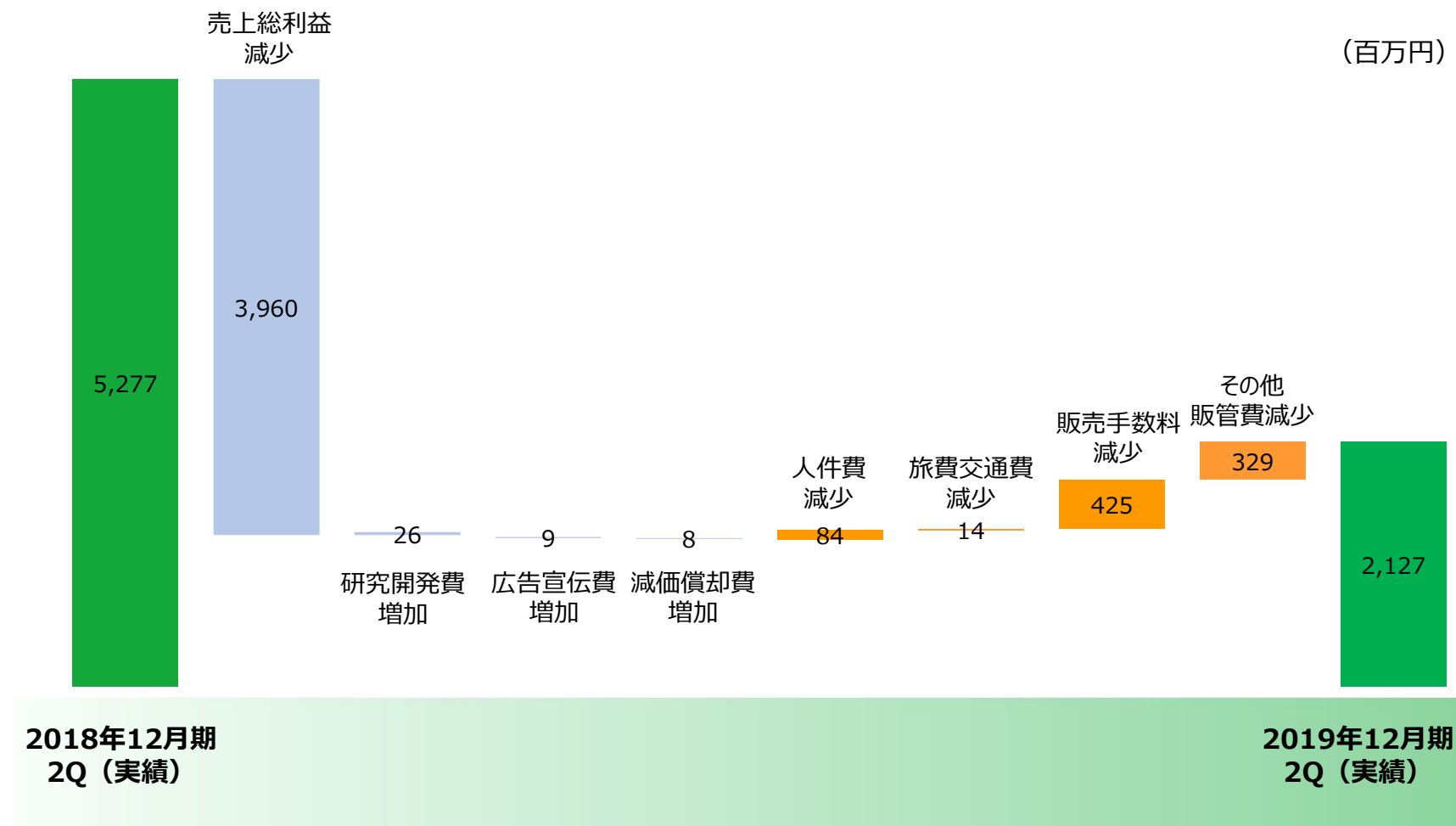
- ✓ 米中貿易摩擦による投資判断の先送りにより、放電加工機の販売が減少し、2Q売上高は138億円。
- ✓ 販売台数減少に伴う工場の稼働率低下等により、営業利益率は0.2%と大幅に悪化。



(※)決算期変更による変則決算のため、
中国の12月決算会社の17年1-3月の数値を含みます。

営業利益増減要因

- ✓ 研究開発費や広告宣伝費等一部の科目で増加しているが、販管費合計は減少。
しかし、売上総利益が大幅に減少したことにより、営業利益は31億50百万円減少。



セグメント別業績



(百万円)

		2018年12月期	2019年12月期	前年同期比	
		2Q 実績	2Q 実績	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	29,980	23,444	△ 6,536	△21.8%
	● 産業機械事業	4,981	4,213	△ 767	△15.4%
	● 食品機械事業	3,151	2,344	△ 807	△25.6%
	● その他事業	3,303	2,715	△ 587	△17.8%
			41,416	32,717	△ 8,699
セグメント利益	● 工作機械事業	5,179	2,862	△ 2,316	△44.7%
	● 産業機械事業	302	△ 3	△ 305	-
	● 食品機械事業	424	293	△ 131	△31.0%
	● その他事業	695	64	△ 631	△90.8%
			6,602	3,216	△ 3,386
調整額・消却額等		△ 1,324	△ 1,089	-	-
営業利益 合計		5,277	2,127	△ 3,150	△59.7%

工作機械事業

【中国・日本・欧州】

スマホ・電子部品向けの需要減少のほか、米中貿易摩擦の影響で自動車関連も弱く、第2四半期の販売が大幅に減少

【北米】航空宇宙・医療関係が堅調

【アジア】タイ、インド、ベトナムは自動車関連堅調

- ✓ 販売台数減少に伴う工場の稼働率低下、固定費増加等により利益は減少。

産業機械事業

- ✓ 自動車関連（コネクタ・センサー部品等）は日本中心に堅調だが、米中貿易摩擦で設備投資鈍化が顕在化。
- ✓ スマホ・電子部品向けは一服感あるも、中国・アジアでは光学レンズやシリコン成形機需要、5G対応関連の投資需要あり。
- ✓ 研究開発費の増加等により利益は減少。

食品機械事業

- ✓ 麺の品質向上の為の製麺設備や包装米飯製造装置、自動化設備の需要継続。
- ✓ 受注が下期以降にずれた案件等あり、売上高、利益ともに伸び悩み。

その他事業

- ✓ 精密金型成形事業は自動車関連向けで引き続き一服感あり。
- ✓ 自動化対応に向けた研究開発など中長期的成長のための投資が先行し、利益は減少。

セグメント別業績（四半期別）



(百万円)

	2019年12月期		増減		
	1Q 実績 (1-3月)	2Q 実績 (4-6月)	金額	率	
売上高	● 工作機械事業	13,362	10,081	△ 3,280	△24.5%
	● 産業機械事業	2,320	1,892	△ 428	△18.5%
	● 食品機械事業	1,776	568	△ 1,208	△68.0%
	● その他事業	1,369	1,346	△ 23	△1.7%
		18,828	13,888	△ 4,940	△26.2%
セグメント利益	● 工作機械事業	2,191	671	△ 1,519	△69.3%
	● 産業機械事業	80	△ 83	△ 164	-
	● 食品機械事業	336	△ 43	△ 380	-
	● その他事業	△ 7	71	78	-
		2,600	615	△ 1,985	△76.3%
調整額・消却額等	△ 507	△ 582	-	-	
営業利益 合計	2,093	33	△ 2,060	△98.4%	

工作機械事業

- ✓ 北南米は1Q比増加したが、それ以外の地域で減少。
【中国】米中貿易摩擦による投資判断先送りで2Qの販売減少
【日本】1Qの自動車関連大口案件の反動減と米中貿易摩擦による需要減で販売減少
【欧州】自動車関連で伸び悩み、1Q比微減
【北米】航空宇宙・医療関係で堅調。
【アジア】タイ、インド、ベトナムは自動車関連堅調だが、全体では、1Q比微減。

- ✓ 工場の稼働率低下等により利益は減少。

産業機械事業

- ✓ 自動車関連（コネクタ・センサー部品等）は日本中心に堅調だが、米中摩擦で設備投資鈍化が顕在化。
- ✓ スマホ・電子部品向けは一服感あるも、中国・アジアでは光学レンズやシリコン成形機需要、5G対応の投資関連需要あり。

- ✓ 2Qで更に研究開発費が膨らみ、83百万円の損失

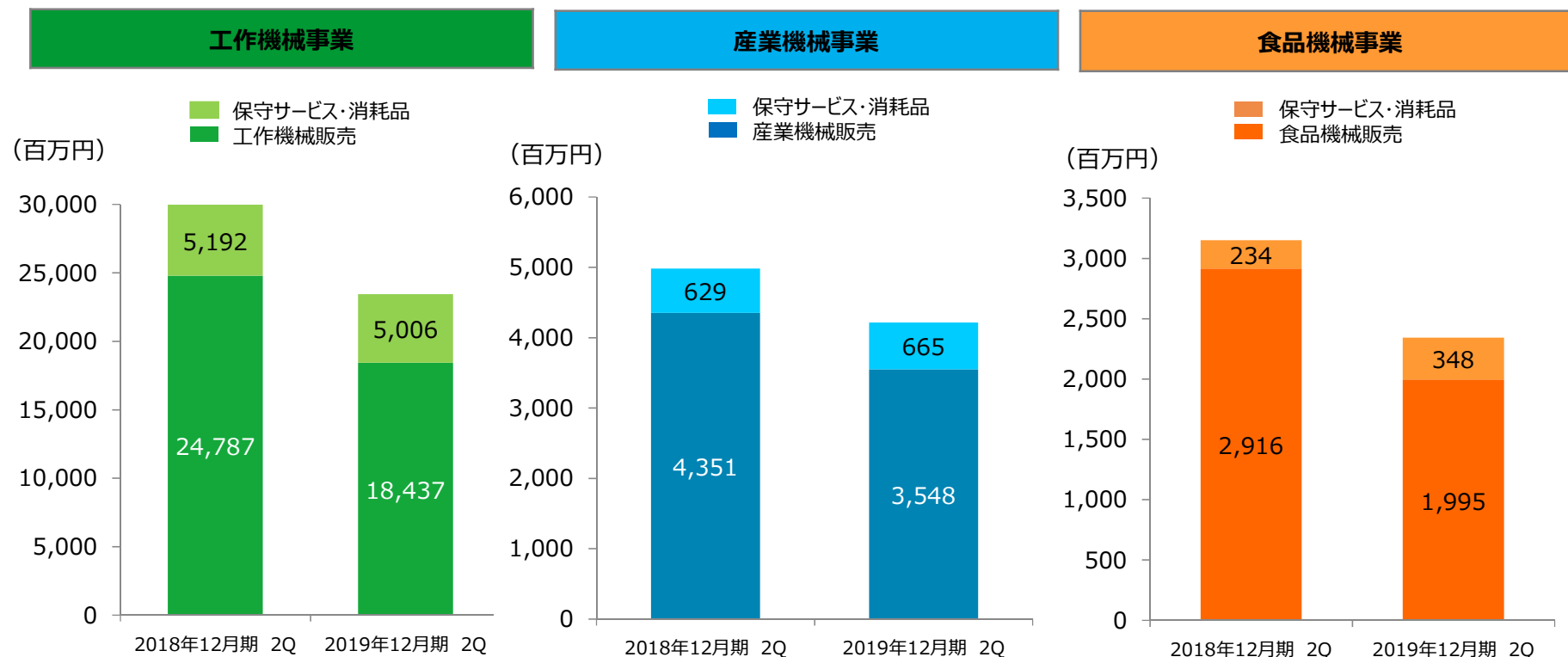
食品機械事業

- ✓ 1Qでは日本での付加価値の高い製麺設備の販売があり、売上高・利益ともに高水準となったが、2Qは製麺・米飯ともに大きな案件なく、伸び悩み

その他事業

- ✓ 精密金型・成形事業は自動車関連向けで引き続き一服感あり売上高は横ばい。
- ✓ 自動化対応に向けた研究開発など中長期的成長のための投資が先行し、利益は減少。

セグメント別 売上高内訳

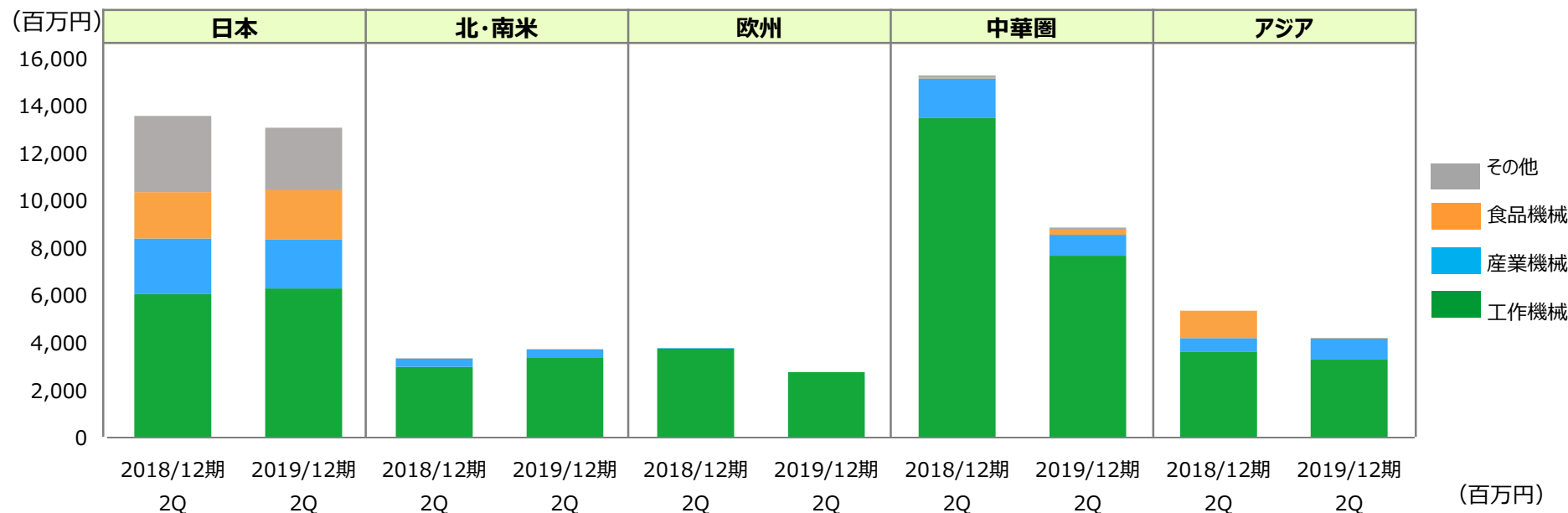


	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2018年12月期 2Q		2019年12月期 2Q		2018年12月期 2Q		2019年12月期 2Q		2018年12月期 2Q		2019年12月期 2Q	
機械販売	24,787	82.7%	18,437	78.6%	4,351	87.4%	3,548	84.2%	2,916	92.5%	1,995	85.1%
保守サービス・消耗品	5,192	17.3%	5,006	21.4%	629	12.6%	665	15.8%	234	7.5%	348	14.9%
合計	29,980		23,444		4,981		4,213		3,151		2,344	

事業別海外売上高比率



✓ 中国、欧州、アジアでの売上高が減少したことにより、海外売上高比率は60.0%に低下。



2018年12月期 2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	6,068	20.2%	2,994	10.0%	3,774	12.6%	13,502	45.1%	3,641	12.1%	29,980	72.4%
産業機械	2,345	47.1%	359	7.2%	18	0.4%	1,681	33.8%	575	11.5%	4,981	12.0%
食品機械	1,967	62.4%	4	0.1%	-	-	24	0.8%	1,155	36.7%	3,151	7.6%
その他	3,208	97.1%	-	-	-	-	95	2.9%	-	-	3,303	8.0%
地域別計	13,589	32.8%	3,358	8.1%	3,792	9.2%	15,303	36.9%	5,372	13.0%	41,416	100.0%

2019年12月期 2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	6,312	26.9%	3,370	14.4%	2,770	11.8%	7,691	32.8%	3,300	14.1%	23,444	71.6%
産業機械	2,061	48.9%	368	8.7%	-	-	879	20.9%	904	21.5%	4,213	12.9%
食品機械	2,087	89.1%	10	0.4%	-	-	224	9.6%	22	0.9%	2,344	7.2%
その他	2,631	96.9%	-	-	-	-	84	3.1%	-	-	2,715	8.3%
地域別計	13,091	40.0%	3,749	11.5%	2,770	8.5%	8,879	27.1%	4,226	12.9%	32,717	100.0%

為替の影響額	日本	北・南米	欧州	中華圏	アジア	計
	-	+約0.4億円	△約1.6億円	△約4.6億円	△約0.0億円	△約5.8億円

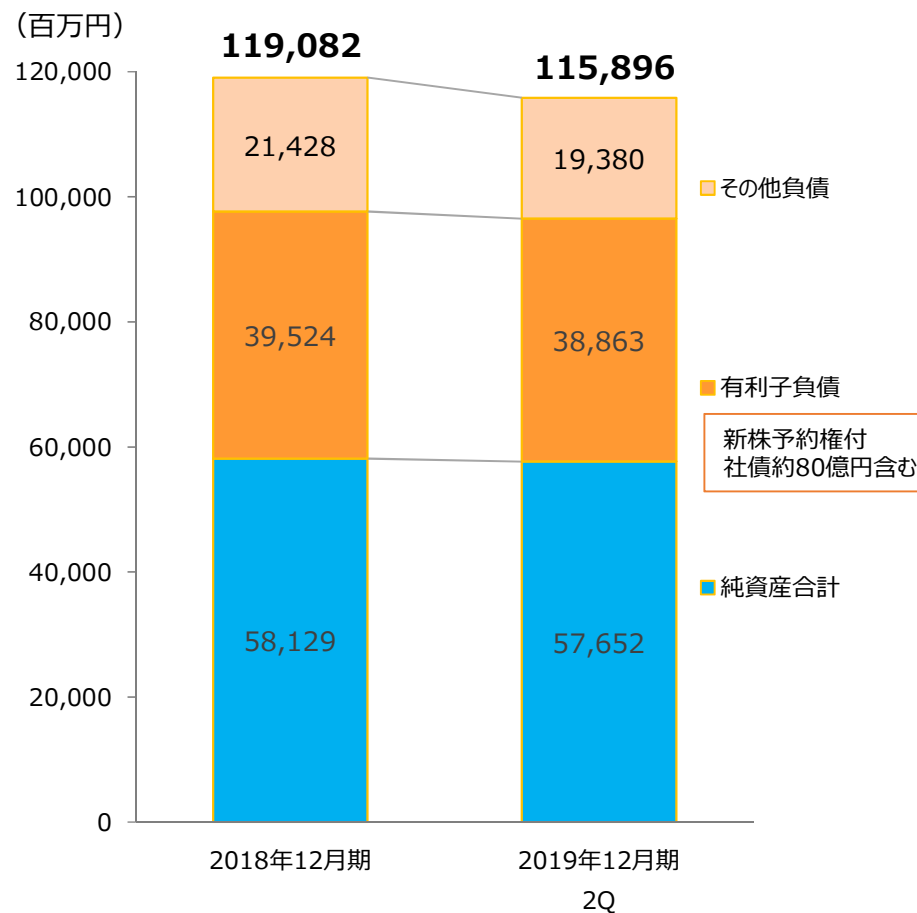
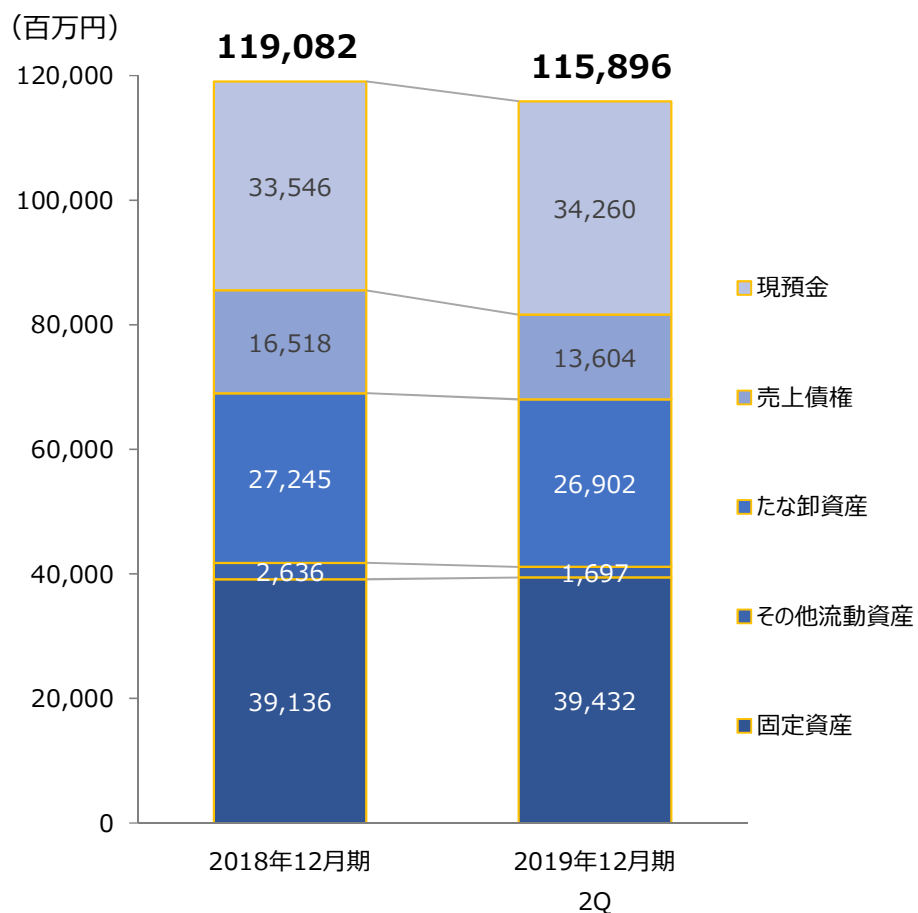
貸借対照表



- ✓ 欧州販社新社屋の建設や宮崎工場（精密金型精密成形事業）の増築などにより、固定資産が増加するも、売上債権及びたな卸資産等の減少により総資産は前期末比 約32億円減少。
- ✓ 前期末に比べ円高に推移したことにより、海外子会社の資本金等の換算により生じる為替換算調整勘定が減少したこと、純資産は微減。

資産

負債・純資産



※参考情報 2019年6月末 為替レート ドル：107.79円 ユーロ：122.49円 人民元：15.69円 バーツ：3.50円
 2018年12月末 為替レート ドル：111.00円 ユーロ：127.00円 人民元：16.16円 バーツ：3.41円

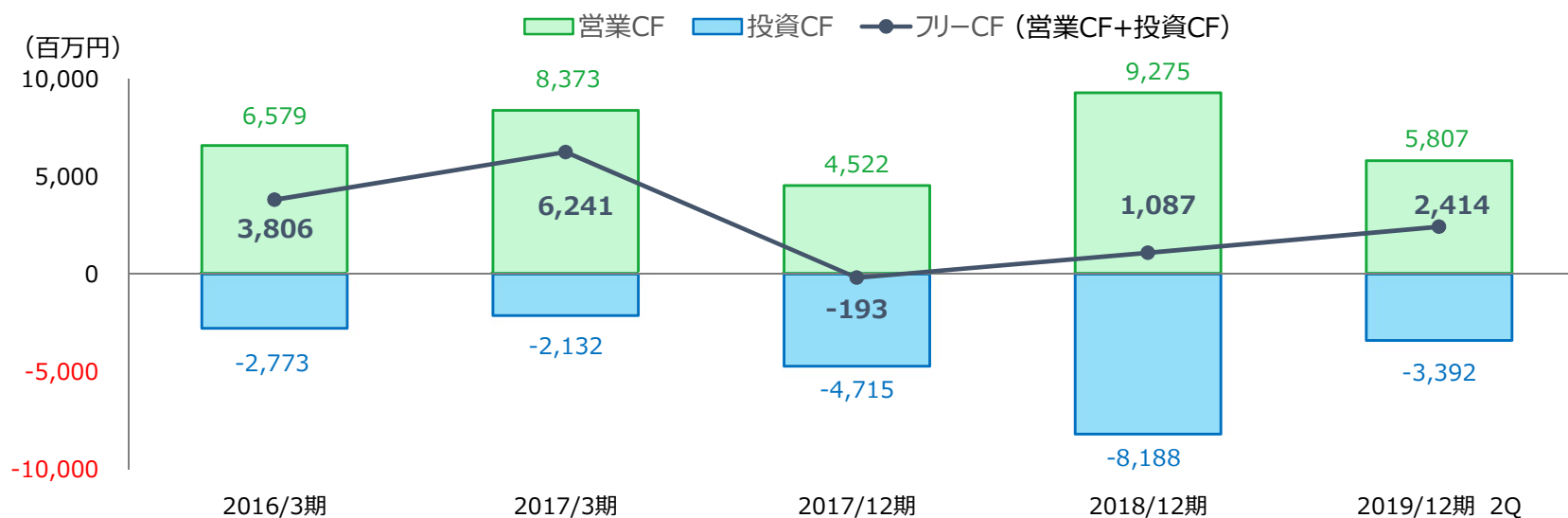
キャッシュ・フロー



- ✓ 営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前純利益が減少するも、売上債権の減少等により、58億7百万円のプラス。投資活動によるキャッシュ・フローは国内外での設備投資が減少し、フリーキャッシュフローは24億14百万円のプラスを確保。

(百万円)

	2018年12月期 2Q	2019年12月期 2Q	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,376	5,807	売上債権の減少 約27億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,957	△3,392	有形固定資産の取得 △約33億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,420	△1,335	長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	36,356	33,295	



1 CIMT2019 (第16回中国国際工作機械展覧会) 出展

中国 北京で開催された、「CIMT2019」では最新鋭の工作機械とロボットを組み合わせた加工イメージや金属3Dプリンタ「LPM325」による高速造形実演など、最先端技術をアピールし、中国での販売拡大に向け積極的な営業活動を展開しました。

【CIMT2019 概要】

開催場所：中国国際展覧中心（北京）

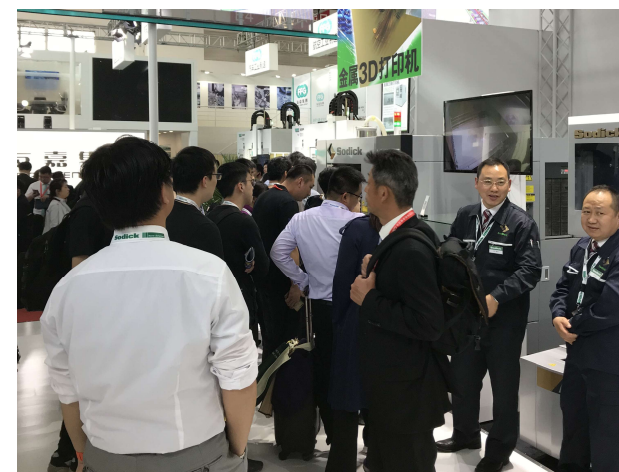
開催期間：2019/4/15-20（6日間）

出展機種：高速造形金属3Dプリンタ「LPM325」

リアモータ駆動高速・高性能精密形彫り放電加工機「AG40LP」

リアモータ駆動超精密ワイヤ放電加工機「AP250Ls」

来場者数：約319,000人



▲会場風景

2 INTERMOLD2019 (第30回金型加工技術展) / 金型展2019 出展

東京ビッグサイトにて開催された、「INTERMOLD2019」では、「工程集約と自動化で高効率な金型づくりを支援する最新ソリューション」をテーマに、最新鋭の工作機械による高精度・高品位加工事例や金属3Dプリンタによる高速造形実演など、最先端技術をアピールし、当社ブースは活況を呈しました。

【INTERMOLD2019 概要】

開催場所：東京ビッグサイト

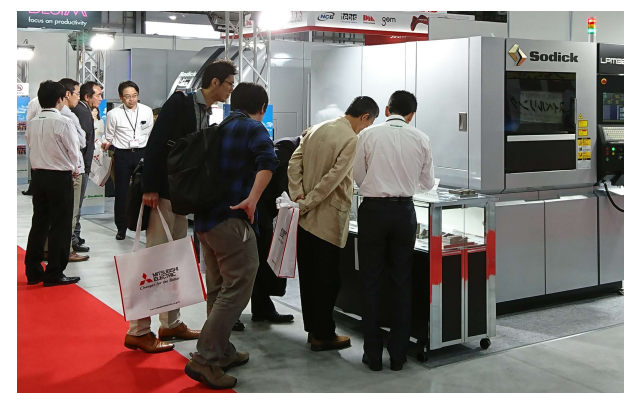
開催期間：2019/4/17-20（4日間）

出展機種：リアモータ駆動高速・高性能ワイヤ放電加工機「ALN600G」

リアモータ駆動超高速ミリングセンタ「UH430L」

高速造形金属3Dプリンタ「LPM325」

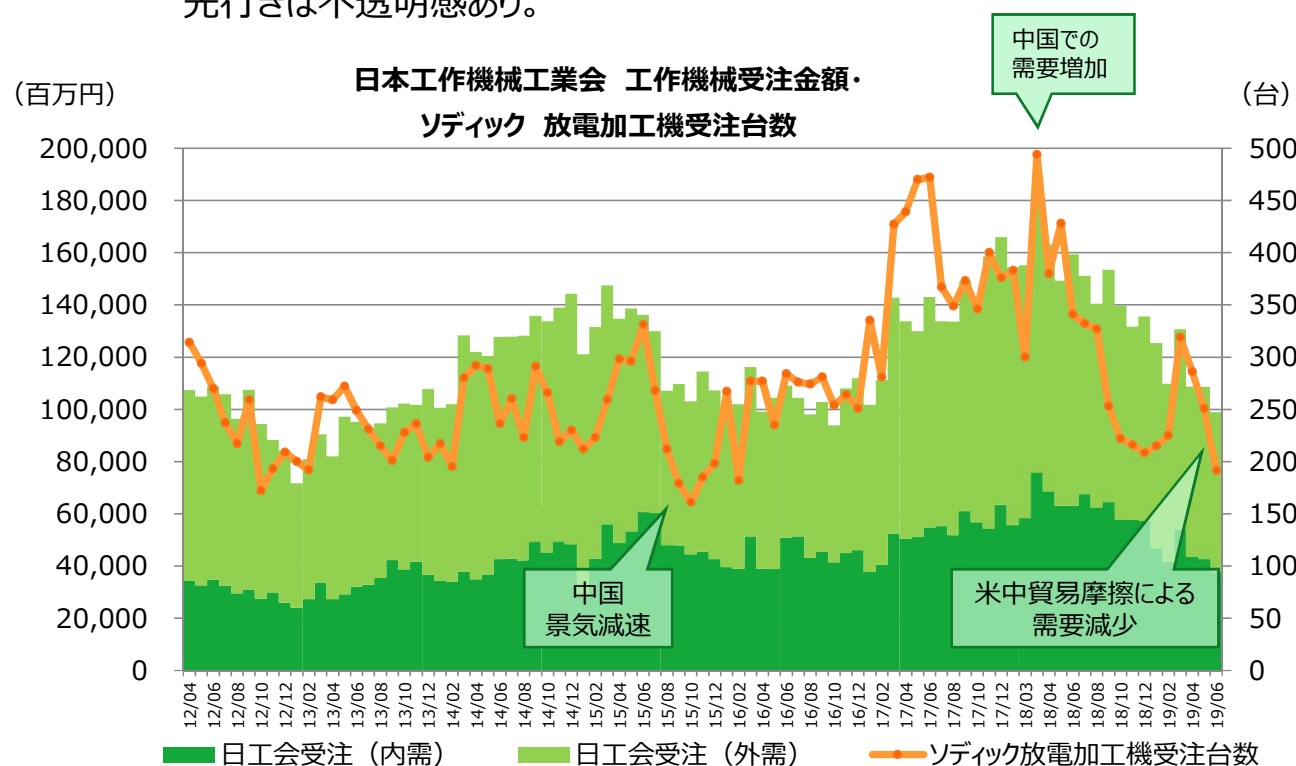
来場者数：約42,000人



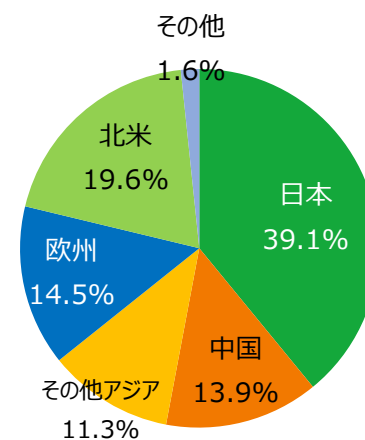
▲会場風景

Ⅱ. 2019年12月期 業績予想

- ✓ 国内：米中貿易摩擦の影響で設備投資に慎重さが見られているものの、政府の補助金政策、老朽化設備の更新需要は継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車はやや一服感あるものの、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：Brexit問題の混迷など先行きに不透明感あるほか、中国景気減速の影響もあり、設備需要は減少。
- ✓ 中国：中長期的にはものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、自動車関連を中心に高精度な機械の需要は継続する見通しだが、米中貿易摩擦などの影響により投資判断の先送りが顕在化。
- ✓ アジア：タイ、インド、ベトナムなどでは自動車関連を中心に回復基調が継続する見通しだが、中国景気減速を受け、先行きは不透明感あり。



日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2019年1～6月累計)



出典：日本工作機械工業会

出典：日本工作機械工業会

2019年12月期通期 業績予想（当初予想対比）



- ✓ 米中貿易摩擦の影響による投資需要の減速を受け、放電加工機の販売が大幅に減少し、第2四半期累計期間の業績が、期初計画を大幅に下回ったこと及び足元の事業環境を踏まえ、下期も厳しい状況が継続することが見込まれるため、通期計画を下方修正。

（百万円）

	2019年12月期 通期		2019年12月期 通期		増減	
	当初予想 (2/14公表)	利益率	修正予想 (8/2公表)	利益率	金額	増減率
売上高	76,800	-	66,200	-	△10,600	△13.8%
営業利益	6,900	9.0%	3,800	5.7%	△3,100	△44.9%
経常利益	6,400	8.3%	3,600	5.4%	△2,800	△43.8%
当期純利益	4,700	6.1%	2,000	3.0%	△2,700	△57.4%

上期実績
期中平均レート 下期想定レート 通期予想レート

期中平均 為替レート	ドル	105.00 円	110.06 円	105.00 円	107.5 円
	ユーロ	120.00 円	124.32 円	120.00 円	122.2 円
	人民元	15.50 円	16.19 円	15.50 円	15.9 円
	バーツ	3.40 円	3.49 円	3.50 円	3.5 円

※2019年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、2019年8月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2019年12月期通期 業績予想（進捗状況）



- ✓ 米中貿易摩擦の影響による投資需要の減速を受け、放電加工機の販売が大幅に減少し、第2四半期累計期間の業績が、期初計画を大幅に下回ったこと及び、足元の事業環境を踏まえ下期も厳しい状況が継続することが見込まれるため、通期計画を下方修正。

(百万円)

	2019年12月期 2Q		2019年12月期 通期		進捗率	2018年12月期 実績
	実績	利益率	修正予想 (8/2公表)	利益率		
売上高	32,717	-	66,200	-	49.4%	82,716
営業利益	2,127	6.5%	3,800	5.7%	56.0%	9,888
経常利益	2,073	6.3%	3,600	5.4%	57.6%	9,619
当期純利益	892	2.7%	2,000	3.0%	44.6%	6,462
	売上高比率		売上高比率			
設備投資額	2,760	8.4%	4,500	6.7%		8,576
減価償却費	1,667	5.1%	3,400	5.0%		3,085
研究開発費	1,911	5.8%	4,200	6.2%		3,902
期中平均 為替レート	ドル	110.06円		107.5 円		110.44 円
	ユーロ	124.32円		122.2 円		130.35 円
	人民元	16.19円		15.9 円		16.71 円
	バーツ	3.49円		3.5 円		3.42 円

※2019年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、2019年8月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別 通期業績予想 (進捗状況)



	2019年12月期			2018年12月期
	2Q 実績	下期予想	通期予想 (8/2公表)	実績
売上高	● 工作機械事業	23,444	20,455	43,900
	● 産業機械事業	4,213	5,886	10,100
	● 食品機械事業	2,344	4,155	6,500
	● その他事業	2,715	2,984	5,700
		32,717	33,482	66,200
セグメント利益	● 工作機械事業	2,862	1,737	4,600
	● 産業機械事業	△3	403	400
	● 食品機械事業	293	406	700
	● その他事業	64	235	300
		3,216	2,783	6,000
調整額	△ 1,089	△ 1,110	△ 2,200	△ 2,607
営業利益 合計	2,127	1,672	3,800	9,888

(百万円)

工作機械事業

- ✓ 米中貿易摩擦による投資判断の先送りが顕在化しており、下期も各地域で厳しい状況が継続する見込み。売上高・利益ともに下方修正。

産業機械事業

- ✓ スマホ、電子部品関連の落ち込みや米中貿易摩擦の影響もあるが、足元では、中国・アジアでは光学レンズやシリコン成形機需要、5G対応の投資関連需要あり、下期にやや回復する見込み。

食品機械事業

- ✓ 複数案件で来期以降にずれ込み、下方修正。
- ✓ 下期にかけて製麺機や米飯装置の検収を見込んでおり、売上高・利益ともに回復する見込み。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き厳しい状況が見込まれる。

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

1 各拠点での営業活動の強化

- ✓中国マーケットの変化への対応 『量から質への転換』
⇒高精度化するものづくりのニーズ拡大に対応するため、営業人員拡充や営業スキルの向上等により、従来より質の高い販売体制の再構築やお客様サポートの強化を促進
- ✓米国・欧州・シンガポールに新設したテックセンターを活用した顧客サポート・サービス体制の強化
により、マーケットシェアの拡大を目指す
⇒中国市場への依存度低下により、地域別売上高のバランスを最適化

2 生産体制の最適化

- ✓生産工場のマルチファクトリー化による生産体制の最適化
- ✓部品の共通化、海外生産等の促進によるコストダウン



3 人事制度見直しによる人材活用の促進

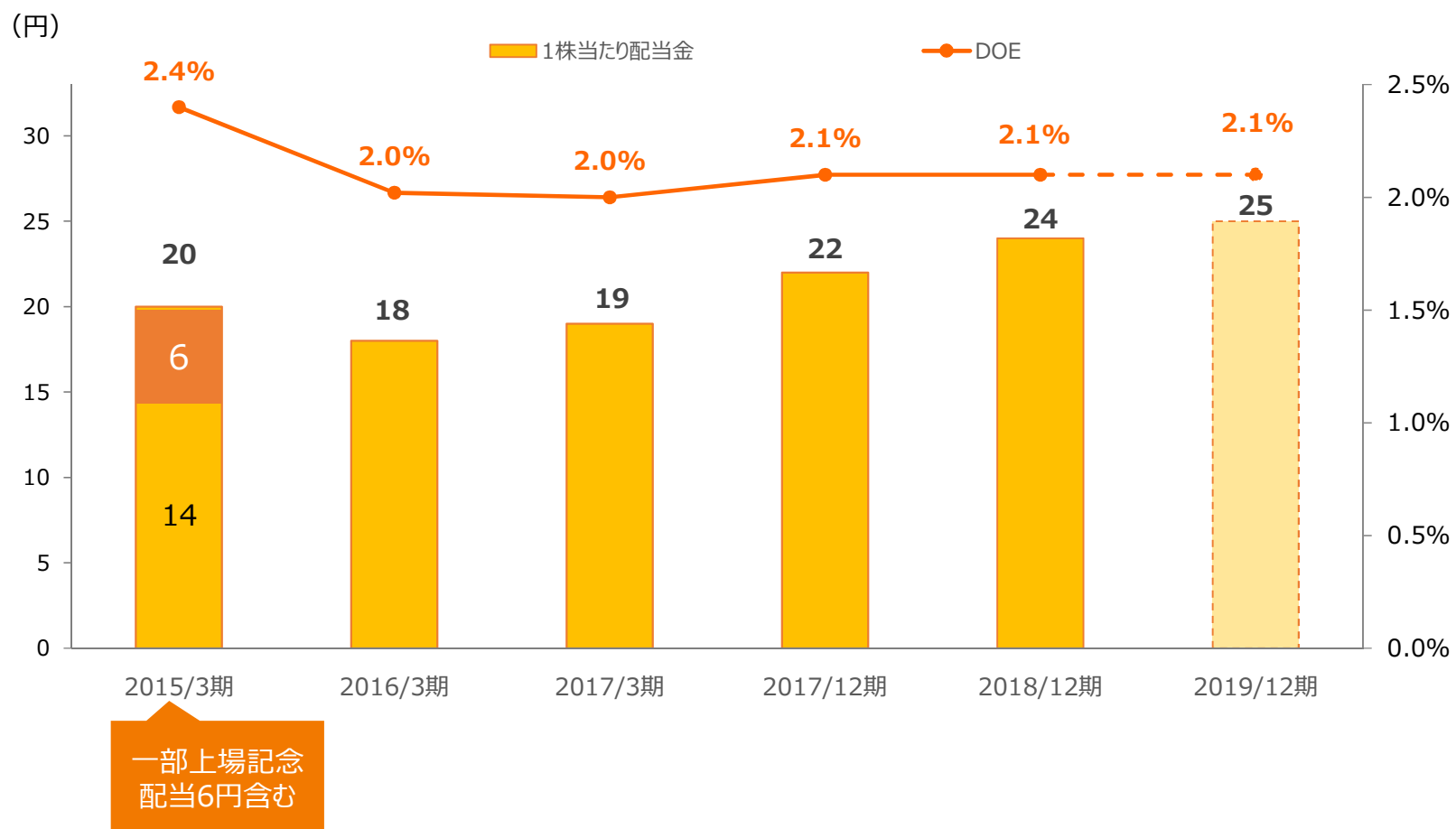
- ✓ 抜本的な人事制度の見直しにより、働き方改革を促進
 - ・女性の活躍促進、シニア制度、外国人労働者の受け入れによるダイバーシティ経営の促進
 - ・時短勤務、在宅勤務、育休取得促進⇒働きやすさ向上に向けた取り組み強化
- ✓ 新入社員研修や階層別研修、海外研修制度、外国人技能実習生受け入れなど、多方面での人材育成の取り組み強化
- ✓ 譲渡制限付株式報酬制度の導入、執行役員・従業員への同制度の拡充



株主還元方針及び配当予想



- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2019年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）



【参考資料】国内外の拠点



【参考資料】主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
9/16～21	ドイツ	ハノーバー	EMO2019	世界最大級の工作機械展示会
9/24～29	アメリカ	カリフォルニア	WESTEC	北米西部地域の工作機械展示会
10/16～18	ベトナム	ハノイ	MTA Hanoi	
10/16～23	ドイツ	デュッセルドルフ	K 2019 (国際プラスチック・ゴム産業展)	射出成形機 欧州にて初出展
10/23～26	日本	名古屋	MECT2019 (メカトロテックジャパン2019)	国内最大級の工作機械見本市
11/20～23	タイ	バンコク	METALEX THAILAND	
12/5～8	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tool Indonesia 2019	
2020年				
3/10～13	ドイツ	デュッセルドルフ	METAV (International Exhibition for Metalworking Technologie)	
4/20～23	英国	バーミンガム	MACH 2020	
4/21～24	中国	上海	ChinaPlas 2020 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
4/22～25	インド	ムンバイ	Die&Mold India International Exhibition	
5/13～16	タイ	バンコク	INTERMACH 2020	
5/18～22	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	
7/2～5	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam 2020 (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
9/14～19	USA	シカゴ	IMTS2018	世界最大級の工作機械展示会
10/6～10	日本	幕張	IPF Japan 2020 (国際プラスチックフェア)	射出成形機を出展
12/7～12	日本	東京	JIMTOF2020	世界最大級の工作機械展示会